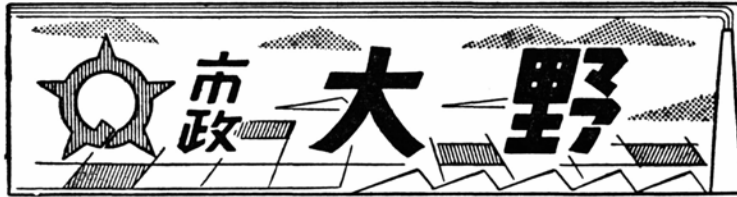
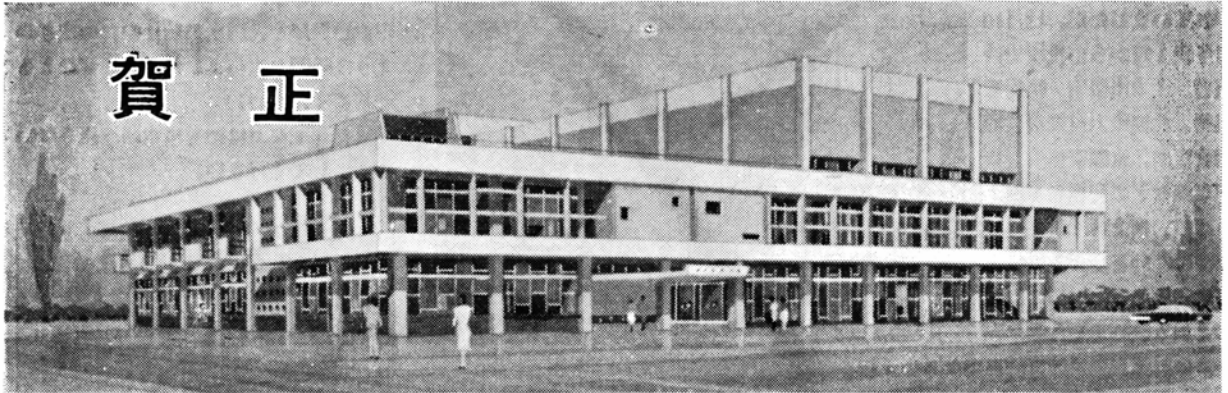


発 行
福 井 県 大 野 市 役 所
(総務課広報係)
電話(代)6-3600
夜 間 6-3601
印刷 松浦印刷所



12月の人口の動き

出生	男 24	女 17	計 41
死亡	男 21	女 20	計 41
転入	男 75	女 81	計 156
転出	男 84	女 68	計 152
世帯数			9,718
人口			44,741
男			21,407
女			23,334



賀 正

(写真は今春完成する市民会館)

第84回定例市議会は12月14日午前11時36分開かれ、会期を20日までの7日間と定め、一般会計補正予算1億583万6千円のほか6議案を原案どおり可決、1議案を継続審議とし、陳情、請願14件を採択しました。

このあと佐開地系のゼニガメ地籍に農工業用水などの多目的ダムを建設するため、真名川ダム建設調査特別委員会を設置し、委員長に石田善徳氏、副委員長に齋藤秀雄氏、委員19名を選出し、12月20日午後3時5分閉会しました。議決された議案のあらましは次のとおりです。

◎議案第74号 昭和40年度一般会計補正予算 総額1億583万6千円

歳出では 議会費18万5千円、総務費54万4千円、民生費8万8千円、衛生費78万4千円、農林業費56万3千円、商工費1万円、土木費44万2千円、消防費39万1千円、教育費973万6千円、災害復旧費9千915万3千円です。

歳入は地方交付税795万7千円、国庫支

建設調査特別委員会を設置 第84回定例市議会

謹しんで新春の

お祝詞を申し上げます

市長 森広 治兵衛

昨年は市にとってかつてない大被害を被り、天災とはいいながら誠に悲しむべき年でありました。本年は皆さんとともに手をにぎり、何よりもこの災害の復旧に全力をつくしたいと思えます。何とぞ深いご理解とご協力をお願いします。

市議会議長 山本 武

昨年は未曾有の大災害に見舞われ、被災された方には心からご同情申し上げます。また市といたしましても莫大な被害を受けたのでありますが、ことは明かるい午の年を迎えましたのでこれら災害復旧について「災いを転じて福となす」よう皆様と共に最善を尽くし活躍する所存でございます。どうか市民各位の力強いご支援とご協力をお願いいたします。

出金7千671万1千円、県支出金285万2千円 寄付金184万5千円 諸収入7万1千円 市債1千700万円となっています。

◎議案第75号 昭和40年度大野市特別会計五箇診療所補正予算について

これは五箇診療所の医薬品の購入費で総額10万円です。

◎議案第77号 大野市立保育所設置条例の一部を改正する条例

これは上中野にあかね保育園が新設されたので一部改正されたものです。

◎議案第78号 財産の処分について

あほなこっちゃ

国会

ヒンよくねがいます

(馬一同)

アホナコッチャ

これは市有地の売却処分の承認を求めました。

◎議案第79号 分校廃止について

これは教育効果の向上を図るため、上庄小学校五条方分校を昭和41年3月31日から廃止しようというものです。

◎議案第80号 農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業の実施について

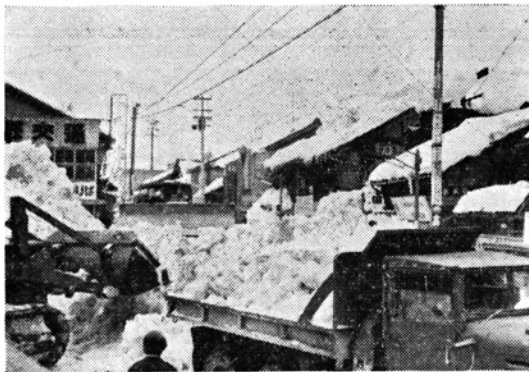
これは総工費4千50万円を投じ、東中から森山までの延長5千700mを幅員5mにし、道路やその間の諸施設を整備しようというものです。

◎議案第81号 大野市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例

これは市で行なう土地改良事業に要する経費については、地元負担金を徴収しようというものです。

消防と水害防止に万全 雪害対策決まる

12月6日未明からの寒波襲来とともに雪害対策が急がれていましたが、12月10日午後1時から市役所で警察署、土木出張所、電報電話局、北陸電力営業所、職業安定所、食糧事務所、京福電鉄などの関係者が集まって雪害による混乱を最少限度にくいとめようと、今冬の雪害対策について次ぎのとおり決めました。



(写真は38.1豪雪スナップ)

この計画が効果的に推進できるよう皆さんのご協力をお願いします。

市の配備体制について

市防災計画の雪害対策にもとづき、積雪が90cm以上に達したときはバス路線と主要幹線市道を重点に除雪を行ないます。また2m以上に達したときは雪害対策本部を設置し、関係機関の協力を得て災害から市民を守ることにしました。

◎ 道路除雪計画について

第1次除雪路線はバス路線と国道、県道を接続する主要市道10路線で、延長9万5千600mの交通輸送の確保を図ります。第2次除雪路線は通学道路となっています。

◎ 雪捨て場所を指定

雪捨て場所を次ぎの6カ所に指定しました。

- △赤根川の大橋詰め △木瓜川と六呂師線交点 △木瓜川と七間線(駅東)
- △清水上の新堀川 △清滝川と金沢岐阜線交点 △清滝川と六呂師線交点

◎ 公共施設の除雪

学校 公民館の雪おろしは校下ごとの部落、PTAその他の団体の協力で行ないその他の建物については各主管で行ないます。主要な橋は市において、その他の橋については各部落で自主的に行なってください。

◎ ゴミ、し尿について

最悪の場合は処理しやすいゴミ(紙クズなど)はできるだけ家庭で焼却し、そ

他のゴミについては袋やあき袋で保管してください。豪雪により収集不可能なときは次ぎの場所まで運んでください。

- △国道と水落の交点 △みどり公園西側 △山王公園 △六間と三番交点の西側 △六間と寺の交点 △荒井町二区路切の東側

し尿については積雪前に汲み取りをすませておいてください。

◎ 交通対策について

幹線道路以外の道路除雪は市民の積極的な奉仕により行なう。道路におろした屋根雪はすみやかに除いて交通の確保を図っていただきたい。

路上駐車や、道路近くに物を置くこと

は除雪作業の障害になりますから放置しないようお願いします。やむを得ず道路に置くときは赤旗を立てるなど標示してください。路上に放置しておいたために除雪で受けた損害については責任は負いません。

◎ 水路での雪流しは計画的に

市街地の水路を利用する融雪は、防火用水の確保と、洪水の防止のため次ぎのように時間を決めましたから、ぜひとも守ってください。

またゴミなどは絶対に水路へ流さないようにしてください。

割当時間	地 区 別
午前7時～10時 (雪の多いときは午前中)	水落町通り 五番通り 本町通り 寺町通り 三番通り
午前10時～12時 (雪の多いときは午後)	二番通り 春日町通り 四番通り 横町通り 昭和町通り
適宜の時間	その他の町内

◎ 孤立部落対策について

積雪が多くなって孤立が予想される部落では状況調査のためヘリコプターなどが上空を飛んだときは、とくに次ぎのことに注意してください。

△急病人があるときは赤旗(1m四方)を△食糧がなくなったときは青旗を振ってください。

その他区長さんあて通知のとおり。

各区長さんは異状積雪になったときは総務課までご連絡くださるようお願いいたします。

身近な選挙から 婦人研修会開かれる

12月15日午前10時から市役所に約190名の婦人たちが集り、私たちの生活を良くするには、身近な選挙から始めようという話しあいが行なわれました。

この会では午前中は4つの分科会に分かれて「くらしと政治についてこの頃思うこと」をテーマに話し合い、午後は大会議室で午前中討議された分科会の意見をもちより全体討議が行なわれ、多くの収穫を収めました。

このあと県吉田秀尾先生の「婦人と政治」という講演があり、有意義な1日を過ごしました。

(写真は全体討議のひとこま)



保育園申し込みは1月中旬に

市保育園へこどもを入園させたい方は入園申請書を1月中旬に福祉事務所または各保育園へ提出してください。申請書は福祉事務所または各保育園にあります。くわしいことは福祉事務所へ。

高松宮賜杯第16回中部日本スキー大会が1月30日から2月1日まで9日間奥越高原スキー場を舞台に開かれます。この大会には三重、愛知、岐阜、富山、石川、福井県の代表選手600名が参加して行なわれます。

大会実行委員会では準備が着々と進められ開会を待つばかりとなっています。

大会初日の1月30日午後2時からは国鉄越前大野駅前に集合した各選手団が、花火を合図に有終中学校ブラスバンドを先頭に駅前→六間通り→三番通り→有終南小学校前→市役所前へと市中大行進を行ないます。

午後2時40分より、高松宮殿下をお迎えし、有終中学校校庭で開会式が行なわれ大会の幕が開かれます(以下日程は40年12月号に既報のとおり)
高松宮殿下のご日程は

高松宮殿下ご臨席で開会式
第16回中部日本スキー大会迫る



◎ 1月30日
19.32 国鉄越前大野駅ご到着
19.40 市役所ご到着
ご休憩(市長室)

- 14.40 開会式ご臨席
- 15.33 お茶の会ご出席(市役所)
- 16.10 市役所御発、御宿泊所俵屋へ
- 17.30 市長主催レセプションご出席

◎ 1月31日

- 9.00 俵屋御発
- 10.00 勝原スキー場御着、ご休憩(銀嶺荘)
- 10.10 競技ご覧(ご昼食、銀嶺荘)
- 13.20 スキーご愛用
- 15.30 勝原スキー場御発
- 16.20 俵屋御着

◎ 2月1日

- 9.30 俵屋御発
- 9.55 尚徳中学校御着 ご休憩(校長室)

- 10.10 競技ご覧
 - 11.30 尚徳中学校御発
 - 11.55 俵屋御着、ご昼食
 - 13.30 俵屋御発
 - 13.40 いとよ榎息地ご覧
 - 14.10 〃御発
 - 14.40 尚徳中学校御着、ご休憩
 - 15.00 閉会式ご臨席
 - 15.50 尚徳中学校御発
 - 16.15 越前大野駅御着
 - 16.19 越前大野駅御発
- 宮様のお通りの道すじでは国旗を持って歓迎いたします。

善意銀行を開設

本店は福祉事務所に

市の社会福祉協議会では1月4日から善意銀行を店開きすることになりました。これは市民の善意を市がお預かりし、恵まれない人や困っている人たちの相談相手となり、助けあって心豊かな生活をしてもらおうというものです。

本店は市社会福祉事務所の市社会福祉協議会に設置し、各公民館を支店として事務を取り扱います。善意館行では次のような口座を用意しております。

- ①物品口座 ②金銭口座 ③労働口座
- ④技術口座 ⑤結婚口座 ⑥その他の口座

農村集団自動電話

(ダイヤル式)が开通

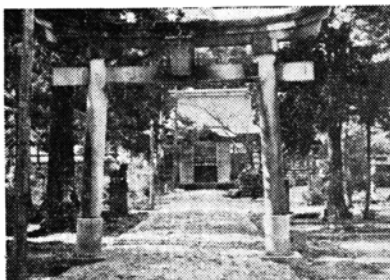
日本電信電話公社では総工費2千500万円を投じ、中保地係に農村集団自動電話交換機を設置し、下庄、富田、乾側、小山地区農家492世帯を対象に電話付設工事が進められていましたがこのほど完成し、12月23日午前10時現地で開通式が行なわれました。

同公社では農山漁村振興対策の一環として電話の普及を行ない、農村の生活文化を高めようというもので大野市では初めて完成したものです。このため農村集団電話加入者間の通話はもちろん、一般市民の方がこの加入者へ電話されるときも普通のかけ方で通話でき大変便利になりました。

大野の歴史③

延喜式神名帳に記されている神社

遠い我々の祖先は、目に見えぬ造化の靈力を神と考えた。天も地も山も川も、神靈のあらわれであると信じ心がマコトであれば幸福を与えられ、心がヨコシマであれば災禍を与えるのが神であると信仰した。祈願の儀礼がマツリであり、祭場が御屋(ミヤ)となり、屋代(ヤシロ)となり、やがて神社と発展する。千数百年の昔から、村落があれば必ず神社があった大野地方における最も古い神社のたしかな記録は、今より1千588年前に成立した延喜式神名帳である。それによ



- ると今の大野市の区域にあったと考えられる神社を地名によって推考すると
- ・篠座(しのくら)の神社…大野篠倉村
 - ・大槻磐座(おおつきのいわくら)神社…下庄の西大月村
 - ・坂門一事(さかとひとこと)の神社…乾側の坂戸村
 - ・荒島神社…富田の佐開村
 - ・風速(かざはや)の神社
 - ・高於磐座(たかへのいわくら)の神社
 - ・国生(くになり)

大野神社

これらの地方は、千数百年前には村落ができ、開拓されていたことを推考できる。神社の興廃と祭神の異動と位置は、変遷が多く、現在の神社にあてはめることは慎重でなければならぬ。

(写真はしのくら神社)

新年に思う

カギツ子を預かる施設を

市にお願いしたいことは、カギツ子達が心ゆたかに、読書をしたり遊んだりしながら、友好関係や団体生活を自然のうちに培われていくよう育成のできる施設の実現を熱望して止みません。施設の中にはピンポン台、書棚などを作って、素直な子供の心をゆがめずのびのびと成長させたいものです。管理は市当局に任せ監督は当番制をとり、子供達と遊んだり話し合ったりして子供の心に融けこんで誘導したいというのが私の念願であります。これは急を要する課題であると信じます。

(児童委員 72才、女)

教育面に努力を

ことは市民会館も完成し、着々と市としての形態は整えられてまいります。しかし乏しい財政の中でも、私達市民の為にしたいことは、大野百年の計に思いを致し、子弟の教育に最も意をそそいで戴きたいと存じます。それに2年後に迫った国体に備え、また市民の体位向上を目指し、市民グラウンドの設立等、是非実行して戴きたいと存じます。素材で底抜けに人の良い大野人も、ここで乾坤一擲頑張らねばならぬ時が来た様に思います。

(松田まつ系 PTA役員 36才)

死について

元日は誰もが希望に満ちた顔をしますしかし、茶碗をわたり下駄の緒などで

(ウマ正月の初迎放談より)

くホタルも惜しい存在である。▼魚の類は全滅。鯨は残っている。いわく鯨は魚ではないからだ。すし屋のマッチにたくさんある魚への字は当世の子供にとつては全くのデザインに過ぎない。▼鳥の仲間ではただ鶏のみ。エンジャクいづくんぞウコクの志を知らんやである。▼獣ではかなりの仲間がいるのもたのしい。牛馬。犬象。羊豚。さすが犬。エンの仲とはよくいったもの、サルが見事落選している。犬馬の労を取ったと解すべきか。

馬あれこれ

人間の顔の形にはいろいろある。丸いのやら四角いのやら、ミックスされたのやら、長いのやら。丸いのをダンゴのような顔、四角いのは碁盤顔、長いのをウマヅラなどという。

「あなたウマ年ですか」

「どうして」

「だつて顔が長いもの」

なんて言つたらそれこそけとばされてしまうだろうが、顔が長いからといつてウマ年とは限らない。

さて、ことしはウマ年であるが、年頭にあつて馬の歴史などを少々ひもといてみたい。そんな固苦しい話はウマくないと思われるご仁は馬耳東風にしていただきたい。

馬はほ乳類で、最初は他のほ乳類と同様に、4肢に5本の指を持っていたが、5千万年の間にだんだん指の数が



減るとともに、体形が大型化して現在のようになった。馬は全世界に広く分布し、わが国にも野生馬がいたことが貝塚などから出た骨片によって知られる。馬に関する民俗的な説話も数々あるが、わが国では神祭に馬を引き出して神の乗物とし、馬の行動によって神意を占ったり、正月には厩祭を行なう風習もある。馬頭観世音は馬の守護神

である。その他いろいろあるが説話の紹介はこれにとどめたい。いまや世は機械の世の中で、馬の影がうすくなってきたきらい

はあるが、古来、人間生活に寄与してきた馬の功績は実に大きい。農耕に交通に戦場に、そればかりではない。サクラ肉といって、グリコーゲンの多い肉を提供してくれる。もっとも人間の顔をしたサクラとかツケウマなんていうのは、ご免こうむりたいが……。

天馬 空を行く。そんな望みでことしを迎えたいものだ。

遺族に3万円の特別弔慰金

昭和40年6月1日に特別弔慰金支給法が施行され、軍人、軍属の遺族に特別弔慰金3万円が支給されます。

受給者は昭和40年4月1日現在、遺族扶助料または遺族年金を受けていない遺族であつて昭和27、28年以後に弔慰金の歳定を受けている方です。

市ではこのことについて、ご相談に応じています。該当者は市福祉事務所でおたずねください。



現在使用されている当用漢字(一八五〇字)および、教育漢字(当用漢字中、義務教育期間中に読み書きできる)

ように決めた八八一字)の中で、動植物について漢字で表記するのが許されているものを拾ってみると次ぎのとおりである。(以下漢字に、をつけたものは当用漢字。をつけたものは教育漢字)▼まず植物では正月の松、竹、梅を始め、菊、桜、桃、桑、米、稲、麦、茶、桐の木がある。竹は木でないから区別したのかも知れない。そうしないと松、竹の格が問題になるといひがみも生じる。それにしてもスキヤヒノキがないのが寂しいという声が多い。ごもつともな次第である。米が主食の日本人が稲と麦を差別したのは粉食奨励のためか国花が菊だが桜も日本の代表的なものなのに、やや恨めしい。▼虫の中では蚕と蚊、だけである。蚕は桑とアマテラスの時代から切り離すことのできない因縁があるからとの配慮もあろうが、蚊がはいるならノミだつて仲間入りしたいと憤慨したとか……。しかし最近農薬で消えていくホタルも惜しい存在である。▼魚の類は全滅。鯨は残っている。いわく鯨は魚ではないからだ。すし屋のマッチにたくさんある魚への字は当世の子供にとつては全くのデザインに過ぎない。▼鳥の仲間ではただ鶏のみ。エンジャクいづくんぞウコクの志を知らんやである。▼獣ではかなりの仲間がいるのもたのしい。牛馬。犬象。羊豚。さすが犬。エンの仲とはよくいったもの、サルが見事落選している。犬馬の労を取ったと解すべきか。